

Life Focus

Nurse station HANAKOTOKU Niigata

2025.08
Vol.1

私たち「プラウドライフ株式会社」では、「Life Focus」という事業コンセプトで事業所・ホーム運営をしています。

「Life Focus」とは、「その方らしさの実現」であり、お一人おひとりのこれまでの人生にフォーカスし、ご自宅でのサービスの利用開始後や、ホームへのご入居後にも「その方らしい生活」を続けられるよう、介護を通しその方の「生き方」をサポートします。こちらでは、「Life Focus」に関わってくださったお客様について、事例を用いてご紹介をしております。

『お家が1番！』

83歳 女性 要介護2



想いに寄り添い、信頼していただけるケアを

ご自宅でご生活中のこの方は、はなことばをご利用いただいてから1年ほどが経過しました。パッチワークや太極拳、お花や草花など、多趣味で社交的な方で、「いつまでもご自宅で過ごしたい」というご希望をお持ちです。

以前利用していたサービス事業所とは馬が合わずすぐに変更された経緯があったり、はなことばでもコミュニケーションの相違からスタッフへの不信感を募らせ、事業所の変更を検討されたこともありましたが、一部スタッフには親しみを持ってください「話しているときは病気を忘れられる」「あなたが来るのを待ってたのよ」と笑顔で対応してくださいました。

そこで、「**私たちの訪問日をご本人にとって楽しみのひとつになること**」「サービスを継続して提供し、ご本人の“いつまでもご自宅で過ごしたい”という**長期的な希望を叶えること**」をプランにしました。

病気になってしまったことや、麻痺で思うように身体を動かさないことに対し悲観的なお言葉も聞かれますが、訪問中にご本人の好きな曲を流すなど楽しくリラックスできるような環境作りをし、「その方を知り想いに寄り添うこと」を大切にケアをさせていただきました。

現在も継続してご利用いただいておりますが、誰がサービスに入っても拒否なく、部屋や玄関に飾られているたくさんのパッチワーク作品を見せてくださったり、庭に咲く花の名前や家庭菜園のコツを教えてくださいなど、ケアとは直接関係のない**プライベートな部分も見せてくださるほど信頼していただける**ようになりました。



担当スタッフより

慣れ親しんだ自宅で「家族に迷惑をかけずに長く生活をしたい」と思うのは当たり前のことで、それをお手伝いできるのが病院・施設看護師にはない「訪問看護」の仕事の特徴でやりがいでもあると感じました。自分自身の発言や関わり方で受け手の印象は大きく変わるため、まず「相手を知ることや想いに寄り添う姿勢を素直に見せること」「他人に踏み入ってほしくないプライベートそのものの『自宅』へさまざまな理由から訪問させていただいていること」を忘れずに、これからもお客様と関わっていきたいと思います。



ご相談・お問い合わせはお電話にて（受付/9:00～18:00 年中無休）

ナースステーション

はなことば新潟

☎025-385-7073

ホームページはこちら



Life Focus

Nurse station ATATAKA Kashiwazaki

2025.08
Vol.1

私たち「プラウドライフ株式会社」では、“Life Focus”という事業コンセプトで事業所・ホーム運営をしています。

“Life Focus”とは、「その方らしさの実現」であり、お一人おひとりのこれまでの人生にフォーカスし、ご自宅でのサービスの利用開始後や、ホームへのご入居後にも「その方らしい生活」を続けられるよう、介護を通しその方の「生き方」をサポートします。こちらでは、“Life Focus”に関わってくださったお客様について、事例を用いてご紹介をしております。

『元気になって庭に出たい！写真を撮るぞ！』

84 歳 男性 要介護3

“ご家族”がご自宅で安心して過ごせるように

ご家族でお暮らしのこの方は、ご病気や手術により徐々に歩行が不安定になり転倒を繰り返していました。その後、食欲不振と心不全での入院をきっかけにご利用開始となりました。退院後も食欲不振やふらつきが継続してみられるご状態で、奥さまより「庭や池の鯉を気にして外に出ようとする。転ばないか心配」とのお声もありました。写真撮影や庭いじりがご趣味で、お庭は今も奥さまがきれいにお手入れされています。転倒の心配はありますが、ご趣味についてお話しされるご本人のイキイキとしたお姿を拝見し、「**自分で歩いて庭に出ること**」と、「**庭の草花や池の鯉の様子を見ること**」を“Life Focus”のプランにし、週1回の看護師の訪問からスタートとなりました。



ご趣味のカメラ

ご病気のこともあり「本人の好きな濃い味や甘いものを食べさせて良いものか…」と悩んでいらした**奥さまのお話を傾聴し、プロとしての助言を行い励ましながら関わり**ました。徐々に食事摂取量や体力が向上し「家で毎日お風呂に入りたい」とご本人よりご希望があり、訪問看護での入浴介助に作業療法士が同行し評価を行い、連日ご自身で入浴できるようになりました。

週1回の看護師の訪問から、作業療法士の訪問を増やし、計週2回の訪問に変更。リハビリを定期的実施したことにより、現在は転倒に注意しながらも**安全に庭を歩くことができるようになりました**。ご本人より「入院前のように自分で歩いて庭に出れるようになった。近所の絶好の撮影スポットに行き白鳥の写真をまた撮りたい」と今後のご希望を、奥さまより「食欲が戻らず、また入院してしまうのでは、どうしたらいいのか、と不安だった。**たくさん話を聞いてもらって気持ちが楽になった**」とお話をいただきました。



リハビリの様子



担当スタッフより

ご本人だけでなく、ご家族がご自宅で安心して過ごせるように心がけ、看護師が体調面を、作業療法士が活動性向上の面を、と多職種で連携をとりました。体調の回復に伴い、心の深くにあったご希望を聞かせてくださるようになり、徐々にご本人らしい生活が戻ってきたと実感していました。ご本人・ご家族から「安心して家で過ごせる」と嬉しいお声をいただいたり、訪問の度に表情が明るくなっていく様子を見れたのは、訪問看護としてのやりがいを感じた場面でした。“Life Focus”を通じ、通常のケアだけでは知りえない、その方の「人生そのもの」にふれるきっかけになりました。これからもより一層、「その方らしい生活」の実現に向かってお手伝いできればと思います。

ご相談・お問い合わせはお電話にて（受付/9:00～18:00 年中無休）

ナースステーション
あたたか柏崎

☎0257-41-5721

運営：プラウドライフ株式会社（ソニー・ライフケアグループ）

ホームページはこちら



PLI25-SP132-02-2508

Life Focus

Nurse station HANAKOTOBA Maebashi

2025.08
Vol.1

私たち「プラウドライフ株式会社」では、「Life Focus」という事業コンセプトで事業所・ホーム運営をしています。

“Life Focus”とは、「その方らしさの実現」であり、お一人おひとりのこれまでの人生にフォーカスし、ご自宅でのサービスの利用開始後や、ホームへのご入居後にも「その方らしい生活」を続けられるよう、介護を通しその方の「生き方」をサポートします。こちらでは、「Life Focus」に関わってくださったお客様について、事例を用いてご紹介をしております。

『最期まで歩き続けたい』

89歳 男性 要介護2



意欲を引き出す「会話の時間」

サ高住にご入居中のこの方は、時折腰の痛みや転倒があるものの、ほぼ毎日運動や歩行練習に自主的に取り組まれながら過ごしていました。

「昨日まで歩いていた人が突然車椅子になるのを見て」と不安になる」「一度専門の人に見てもらいたい」とのお話があり、「現在の歩行能力を維持するプラン」を訪問看護のサービスにて開始しました。

訪問開始当初はやや表情が暗く、物事を悲観的にお話されることが見受けられましたが、**思い出話などをすると次第に表情が明るくなり**、終わる頃には「気持ちがすっきりしました」とお話ししてくださいました。

このことより、「**会話の時間**」を設けることで**精神面のフォローも図れる**のではと考え実施したところ、3週間後には「また自宅に戻りたい」とご自身のお気持ちをお話ししてくださるようになりました。「会話」により前向きな気持ちになれたことで、もしかしたら一度は諦めてしまっていたかもしれない“ご自宅に戻る”という**目標を考えることができるようになった**のかもしれないかもしれません。最終的に「ホームでの生活の方が安心」とのことでご入居の継続を希望されましたが、お話ししたことで気持ちの整理ができた様子でした。

「高齢者の幸福感は家族との会話に影響を受ける」という研究結果*もあります。私たちは実際の家族ではありませんが、顔を合わせ何気ない会話を重ねることで、**家族のような存在として受け入れていただけるきっかけ**となるのではと感じています。

(※岡本和士：地域高齢者における主観的幸福感と家族とのコミュニケーションとの関連、日本老年医学会雑誌 37巻2号(2000:2):149-154)



担当スタッフより

「会話」を重視したサービス提供をしたため、通常の訪問より会話する時間が増え、お客様のことを深く知ることができました。

お伺いするごとにお客様の笑顔や明るい発言が目に見えて増え、「できること」が増えたことが何より嬉しかったです。会話は精神的な安定が図れる重要な要素だと改めて認識しました。今後も会話を重視し、「その方自身の気持ちを知ることから始めること」「そのためにもまずは信頼してもらえる存在になること」が必要だと感じました。

ご相談・お問い合わせはお電話にて（受付/9:00～18:00 年中無休）

ナースステーション
はなことば前橋 ☎027-212-4206

運営：プラウドライフ株式会社（ソニー・ライフケアグループ）

ホームページはこちら



PLI25-SP131-02-2508